

地獄ハイキング

M 温泉マイスターガイド・オリジナル!

『亀川駅ー冷川・関の江』を巡るコース



お願いとご注意 歩くときは危険がつきもの

- 歩いて実感するのは危険がつきもの。特に地熱地帯は高温の場所です。足元には十分注意を。沸騰している場所もあります。
- 歩くときは足元の準備、水の準備、そして体調と心の準備を。
- 別府では、自然であっても持ち主のある場所がほとんどです。見学するときは、きちんとお願いしてください。



地獄ハイキング

『亀川駅ー冷川・関の江』を巡るコース



ハイキングの見所と目的



温泉マイスター協会
シニア・マイスター 甲斐 心也

亀川駅東口をスタートし、旧道沿いを浜田温泉に向かいます。ここから北に向かい、別府でただ一つ温泉が流れ込んでいない冷川の河口を目指します。

冷川の河口一帯は低湿地帯で、過去にも津波の被害を受けています。その象徴の蓮の田んぼを見学した後、別府市で唯一の海水浴場である関の江海岸に向かいます。

近年亀川では、住宅地の水路で絶滅したとされていた淡水の巻貝「オンセンミズゴマツボ」が見つかったり、平田川河口の汽水域で熱帯性の海水魚の生息が確認されたりと、新しい発見が続いています。



ハイキングコース

- スタート JR 亀川駅東口
↓
Stop 1 浜田温泉
↓
Stop 2 浜田温泉裏の防波堤
↓
Stop 3 浜田温泉資料館
↓
Stop 4 入江温泉
↓
Stop 5 冷川河口
↓
Stop 6 蓮（ハス）の田圃
↓
Stop 7 関の江海水浴場
↓
ゴール JR 亀川駅東口

Start JR 亀川駅東口



別府八湯の北の玄関口で、浜田温泉・亀陽泉・四の湯温泉などを核として、多くの旅館や商店で賑わいました。

また、大分交通別大電車の終着駅で、鉄輪・柴石・明礬温泉への起点となっていました。

現在では、APU立命館アジア太平洋大学への路線バスの起点となっています。

1 浜田温泉



浜田温泉の歴史は古く、開湯は1889（明治22）年のことです。今、浜田温泉資料館となっている建物が建てられたのは1935（昭和10）年のことで、竹瓦温泉より古い建物です。現在の建物は2002（平成14）年に建てられ、翌年には旧浜田温泉は取り壊されました。ただし、解体にあたって、設計図を作成するとともに、部材の一部保存が行われたため、2005（平成17）年に資料館として再建されたのです。2006（平成18）年には 国の登録有形文化財に登録されました。

2 浜田温泉裏の防波堤



市営浜田温泉の裏にかつての防波堤が残っています。海岸線が3度にわたって東に東に移動したことがわかります。

明治時代にはここに防波堤があり、その向こうは砂浜で、掘ると湯が沸く、天然砂湯があったのかもしれませんが。

競輪温泉の番台のおばちゃんに聞いた話では、かつて競輪場の駐車場は砂浜で、アサリの潮干狩りができるところに、熱い湯が湧き出す場所があったそうです。

3 浜田温泉資料館



旧浜田温泉の洒落た意匠をご紹介します。入母屋の立派な玄関に入って、浴室のある半地下に下ると、入り口側に「蒸し湯」の跡がありますが、ここの天井に明り取りの仕掛けがあるのです。正面玄関の地面に水晶のキューブが埋め込んであり、これを通して太陽光が届くという、洒落たからくりが施されています。

4 入江温泉



別府八湯温泉道の加盟施設で一番北にある共同浴場です。源泉は市営浜田温泉と同じ「市有浜田泉源外」で、かすかに緑味を帯びた食塩・芒硝泉です。鉄輪断層に沿って、熱源の伽藍岳に近い明礬温泉には酸性泉（濃い硫酸塩泉）があり、少し下の鉄輪温泉には弱酸性の塩化物泉があります。更に下の柴石温泉で、この2つの泉質が程よくブレンドされ、断層帯に沿ってそのまま流れ下ってきたのがここの源泉に思えるのです。大分を代表するもう一つの硫酸塩泉は豊後高田市の夷谷温泉ですが、他に鉄やカルシウムを含むため黄褐色の濁り湯となっています。

5 冷川河口



冷川は別府市の最も北を流れる川で、温泉水が流入していないので、初夏にはホタルが飛び交います。

亀川中央町に「白亀塚」がありますが、「承和 15 年 (847) に冷川で白亀が捕獲され、これを仁明天皇に献上した。この白亀は、吉祥の亀であるので、嘉祥と改元せよとの勅令があった。」と続日本後記にある。この一件から、亀の甲が転化して亀川になったといわれている。」(現地案内板を要約)

6 ハス蓮の田圃



子供の頃、JR日豊線で豊岡駅から別府駅に向かう途中、トンネルを抜けると車窓からハス畑が見られました。

この辺りは土地の海拔が低く、別府市の想定では、慶長豊後地震クラスの地震が発生したとすると、亀川東町には45分後に5.13mの津波が到達はするとされています。

別府医療センターのその先の内竈付近でようやく、海拔10mを超えるので、津波のときには八幡竈門神社かスパランド豊海あたりまで避難する必要があるようです。

7 関の江海水浴場



別府市でたった一つの海水浴場です。北浜のスパビーチは正式には遊泳が許されていません。

関の江海岸の砂は灰色から黒色で、亀川の海浜砂湯や竹瓦温泉の砂湯でも、この黒い砂が使われています。これは鶴見岳・伽藍岳の火山活動で生じた角閃石安山岩が砕けてできたものなのです。

するとスパビーチの白い砂はどこか遠いところから運ばれてきたものなのかもしれませんね。

Goal

J R 亀川駅東口



亀川駅の裏手には国立病院機構別府医療センターの広い敷地が広がっています。ここは戦前・戦中には海軍病院がありました。

「温泉治療を主体とする亀川海軍病院にとって別府湾という良港をもつことは何よりの好条件だったが開院間もなく意外な障害が起こった。それは柴石の泉質が強い酸性のため病院の金属医療器具の腐食がひどく(大分デジタルブックNANNAN「別府今昔」より)」使えないという事態に陥った。昭和7年に亀川湯の森で豊富な単純泉を掘り当て、事なきを得たということです。